

## シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

## シラバス情報

## 授業情報

|             |  |          |      |
|-------------|--|----------|------|
| 授業コード       | 3932554000   | 開講キャンパス  | 泉    |
| 授業開講年度      | 2022年度   |          |      |
| 科目コード       | 5102129920   | 科目分類     | 専門科目 |
| 科目名称        | 原典講読 B   |          |      |
| 科目英字名称      | Reading of Original Texts B  |          |      |
| 単位数         | 1.0  |          |      |
| 履修期         | 後期授業   | 抽選対象     | 対象外  |
| 代表教員番号      | 1210659  | シラバス投稿状況 | 投稿完了 |
| 担当者         | 坂内 昌徳  |          |      |
| テーマ         | 英語で書かれた入門書を読むことで第二言語習得研究についての基礎を学ぶ   |          |      |
| 講義内容        | 我々が母語以外の言語（第二言語）を習得しようとする営みは、一般的には学校で学ぶ他の科目の知識を得ることと同様に見えるかもしれない。しかし、よく調べてみると第二言語習得には独特の現象が数多く見られ、単なる「学習」とは異なる認知プロセスであることがわかる。本講読では1960年代から最近までの研究を理解していくために、これまで主にこの分野の研究者たちが注目してきた問題について英語で読みながら、基礎を学ぶ。<br>この演習は対面授業として行います。<br>アクティブラーニング科目 |          |      |
| 達成目標        | 1. 言語学の専門書を辞書等を使いながら英語で読める。<br>2. テキストを読んで理解したり疑問に思ったことを自分の言葉で表現できる。<br>3. 授業でとりあげた第二言語習得の現象について理解し、説明できる。   |          |      |
| 授業計画<br>第1回 | 【事前学修】 テキストp.61～65を熟読し不明な点や論点をまとめておく。<br>【授業内容】 Three areas of grammar: grammatical morphemes<br>【事後学修】 p.61～65を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。   |          |      |
| 授業計画<br>第2回 | 【事前学修】 p.66～69を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表）、Word order and processing, articles<br>【事後学修】 p.66～69を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。   |          |      |
| 授業計画<br>第3回 | 【事前学修】 p.70～73を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表） How do people learn to write in a second language?<br>【事後学修】 p.70～73を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。  |          |      |
| 授業計画<br>第4回 | 【事前学修】 74～76を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表）、How do people learn to write in a second language?: writing system<br>【事後学修】 74～76を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。あわせてここまでの内容をまとめてレポート（1）として提出。   |          |      |
| 授業計画<br>第5回 | 【事前学修】 p.77～80を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表） Letter/sound correspondences<br>【事後学修】 p.77～80を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。  |          |      |
| 授業計画<br>第6回 | 【事前学修】 p.81～84を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表） Syllable structure, scripts<br>【事後学修】 p.81～84を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。   |          |      |
| 授業計画<br>第7回 | 【事前学修】 p.85～88を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表） Spelling rules, punctuation<br>【事後学修】 p.85～88を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。   |          |      |
| 授業計画<br>第8回 | 【事前学修】 p.89～92を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表） How do attitude and motivation help in   |          |      |

|              |   |
|--------------|---|
|              | learning a second language?<br>【事後学修】 p.89～92を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。  |
| 授業計画<br>第9回  | 【事前学修】 p.93～96を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表） Attitudes, Motivation<br>【事後学修】 p.93～96を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。  |
| 授業計画<br>第10回 | 【事前学修】 p.97～100を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表） Present and future directions<br>【事後学修】 p.97～100を読んで理解したことを自分の言葉でまとめる。   |
| 授業計画<br>第11回 | 【事前学修】 p.101～104を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表） Some concluding remarks<br>【事後学修】 p.101～104を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。あわせてここまでの内容をまとめてレポート（2）として提出。   |
| 授業計画<br>第12回 | 【事前学修】 p.105～108を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表）、 Some concluding remarks, How useful is second language acquisition research or language teaching?<br>【事後学修】 p.105～108を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。 |
| 授業計画<br>第13回 | 【事前学修】 p.109～112を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表）、 Teaching and learning, The grammar translation method<br>【事後学修】 p.109～112を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。   |
| 授業計画<br>第14回 | 【事前学修】 p.113～116を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表）、 The audiolingual method<br>【事後学修】 p.113～116を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。   |
| 授業計画<br>第15回 | 【事前学修】 p.117～120を熟読し不明な点や論点をまとめておく<br>【授業内容】 前時のふりかえり（発表）、 The communicative approach, Some concluding remarks<br>【事後学修】 p.117～120を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。あわせてここまでの内容をまとめてレポート（3）として提出。                  |
| 授業計画<br>第16回 |   |
| 授業計画<br>第17回 |   |
| 授業計画<br>第18回 |   |
| 授業計画<br>第19回 |   |
| 授業計画<br>第20回 |   |
| 授業計画<br>第21回 |   |
| 授業計画<br>第22回 |   |
| 授業計画<br>第23回 |   |
| 授業計画<br>第24回 |   |
| 授業計画<br>第25回 |   |
| 授業計画<br>第26回 |   |
| 授業計画<br>第27回 |   |
| 授業計画<br>第28回 |   |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 授業計画<br>第29回            |  |
| 授業計画<br>第30回            |  |
| 成績評価方法                  | 成績評価には次の方法を用いる。( )内は各方法の①具体的内容、②達成目標との関連、③配点、④評価の観点・基準です。<br>(a) 予習ノート (①事前学修を「予習ノート」の形で提出：②達成目標との関連 1：③28点 = 2点×14：④語彙調べの綿密さ(50%)、記述内容の適切さ(50%)<br>(b) 発表 (①予習の内容を基に授業中に特定の文・段落の内容を説明：②達成目標との関連 1、2：③35点 = 5点×7回：④内容の適切な理解(50)、発表資料・説明方法の適切さ(50%)<br>(c) 「レポート」 (①「ふりかえりでもとめた内容をレポート(A4版5枚以内)として提出：②達成目標との関連 3：③37点 = 10点×3回×1.23：④記述内容の適切さ(50%)、分量の遵守(50%) |
| 学修に必要な準備                | * テキスト、ルーズリーフ式ノート、英和辞書   |
| 関連して受講することが望ましい科目       | * 言語獲得論、言語習得論、言語基礎論ⅡA・B  |
| テキスト                    | Cook, V. & Singleton, D. (2014). Key Topics in Second Language Acquisition. Multilingual Matters: Bristol, UK.   |
| 参考文献                    | * 授業中に適宜指示する。  |
| 履修上の注意                  | * 指定された範囲については必ず自分で熟読し、語彙や用語についてよく調べておくこと。<br>事前学修の状況も成績評価の対象になります。<br>* 授業実施時数の80%以上の出席が単位修得の条件とする。<br>* オフィスアワーは開講時に指示する。  |
| カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連 | アクティブラーニング科目。  |
| 添付ファイル1                 | 説明1  |
| 添付ファイル2                 | 説明2  |
| 添付ファイル3                 | 説明3  |
| 添付ファイル4                 | 説明4  |
| 添付ファイル5                 | 説明5  |
| 関連URL1                  |  |
| 関連URL2                  |  |
| 関連URL3                  |  |

## 教室情報

| 項番 | 履修年度   | 開講期  | 曜時    | 使用開講期 | 教室          |
|----|--------|------|-------|-------|-------------|
| 1  | 2022年度 | 後期授業 | 木曜2校時 | 後期授業  | 泉) 31 I 講義室 |

## カリキュラム情報

| 項番 | 学生区分 | 所属区分 | 学部   | 学科     | 専攻・コース  | 適用入学年度        |
|----|------|------|------|--------|---------|---------------|
| 1  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 |         | 2015年度～2016年度 |
| 2  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 |         | 2015年度～2018年度 |
| 3  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 |         | 2017年度～2018年度 |
| 4  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 |         | 2019年度～2019年度 |
| 5  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 |         | 2019年度～2100年度 |
| 6  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 |         | 2020年度～2100年度 |
| 7  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2015年度～2016年度 |
| 8  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2015年度～2018年度 |
| 9  | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2017年度～2018年度 |
| 10 | 学部生  | 学部生  | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2019年度～2019年度 |

|    |     |     |      |        |           |               |
|----|-----|-----|------|--------|-----------|---------------|
| 11 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース   | 2019年度～2100年度 |
| 12 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース   | 2020年度～2100年度 |
| 13 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース  | 2015年度～2016年度 |
| 14 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース  | 2015年度～2018年度 |
| 15 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース  | 2017年度～2018年度 |
| 16 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース  | 2019年度～2019年度 |
| 17 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース  | 2019年度～2100年度 |
| 18 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース  | 2020年度～2100年度 |
| 19 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース    | 2015年度～2016年度 |
| 20 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース    | 2015年度～2018年度 |
| 21 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース    | 2017年度～2018年度 |
| 22 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース    | 2019年度～2019年度 |
| 23 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース    | 2019年度～2100年度 |
| 24 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース    | 2020年度～2100年度 |
| 25 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語コース | 2015年度～2016年度 |
| 26 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語コース | 2015年度～2018年度 |
| 27 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語コース | 2017年度～2018年度 |
| 28 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語コース | 2019年度～2019年度 |
| 29 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語コース | 2019年度～2100年度 |
| 30 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語コース | 2020年度～2100年度 |

戻る(X)